

お父さんとじいちゃんへ

じいちゃん。じいちゃんは、毎日毎日、田んぼや畑のお仕事していたね。じいちゃんの作った野菜やお米は本当においしかったなあ。

じいちゃん。あの津波で、じいちゃんが守ってきたお家も畑も田んぼも、何もかもなくなってしまったんだよ。

すべてなくなってしまったことも、じいちゃんの作った野菜やお米を食べることができなくなってしまったことも、綾はすごく悲しいです。

ばあちゃんは、お母さんと綾と惣ちゃんが学校に行っている間に、いろんなところへ行って、たくさんのお仕事をがんばっているよ。毎日毎日忙しそうだよ。

もちろん、ご飯作るのもばあちゃんのお仕事。でも、たくさん食べてくれるじいちゃんがないので、ご飯の作りがいがないみたい。ちょっと前までは泣いてばかりのばあちゃんだったけど、でも、いつもがんばっているから安心してね。

お父さん。綾と惣ちゃんは無事だよ。すごい津波だったけど、先生方に守ってもらったよ。綾も惣ちゃんも、一晩中、

暗くて寒い外で過ごしたけど、元気だよ。安心してね。避難所生活も一か月以上で長かったけど、がんばったよ。今は新しい場所で、お母さんとばあちゃんと惣ちゃんと元気にくらしているよ。

お父さん、あの日から五か月たちました。お父さんがいなくても、綾たちはがんばってるから安心してね。綾も惣ちゃんも新しい学校で元気にがんばってるから。惣ちゃんもピカピカの一年生になったよ。友達もたくさんできたみたいだよ。

でも、惣ちゃんは、ちょっと甘えん坊になったような気がするよ。いつもお母さんにだっこしてるんだよ。ねる前にお母さんに読んでもらうお気に入りの絵本は「お父さんはウルトラマン」。惣ちゃんも、お父さんがいなくてさびしいんだなあって、綾は思うよ。

お母さんもお仕事がんばってるよ。「お父さんの夢を見た。」
と言って泣きながら起きて、ちゃんとお仕事に行くお母さんは、ちょっとたくましくなったみたい。きっと、いろんなつらさをがまんして、お仕事してるんだ

ろうなあって思うよ。

お父さん、今は夏休みです。綾も惣ちゃんも、宿題もちゃんとやってるし、プールにも行ってるし、お手伝いもしてるよ。新しいお友達とも遊んでいるよ。だから、安心してね。でも、夏になると必ずお父さんに行った、大島やあじ島に、今年も行けそうにありません。少し、さびしいな。一緒に乗った船や、船についてきたカメたちや、一緒に見た景色は、今、どうなっ

ているのか、想像もつきません。あの日、ものすごい勢いだった海も、今ではうそのようにおだやかで、信じられないよ。

お父さん、じいちゃん、大好きだよ。綾、お父さんとじいちゃんが喜ぶような人になるから。だから、いつも天国から見守っていてね。いつも、綾たちのそばにいてね。綾も、いつも、お父さんとじいちゃんのこと、考えてるから。

(作文宮城 60号 特別編「あの日の子どもたち」より)

